



METROLOGIC INSTRUMENTS, INC.

エリア・イメージ・バーコード
補足設定ガイド

著作権

©2008 by Metrologic Instruments, Inc. All rights reserved.

Metrologic Instruments, Inc.は、本書に関する全ての権利を留保します。論評家が論評にて簡潔な一節を引用するか、もしくは 1976 年の著作権法の規定に記載されている以外は、事前の書面による承諾なしに本著作の一部をいかなる形式または手段にても複製、送信、格納することを禁じます。

商標

Metrologic は、Metrologic Instruments, Inc.の登録商標です。本書に記載の製品は、本書をもって Metrologic Instruments, Inc.または各会社の商標、登録商標、その他と認識します。

目次

スキャナ操作	1
プレゼンテーション・モードとトリガー [†] ・モード	1
スタンド上 [‡]	1
スタンド外 [‡]	2
スタンド内／スタンド外モードの一致	2
パススルー設定 [◇]	5
オムニディレクション（全方向）スキャナ・モード、リニア・スキャナ・モードまたはこの両方	6
照準および照射	8
データ出力	10
キャラクタ抑制	11
同一シンボル・タイムアウト	13
LED オプション	13
スキャナ操作 - MS1633 に限定	14
スキャナ操作 - MS1633 に限定	14
節電モード ^{††}	14
RangeGate [®] モード ^{††}	15
Bluetoothファームウェアおよびアドレス ^{††}	16
インベントリ・モード ^{††}	17
コード・タイプとデコード規則	22
データ・マトリクス	22
QRコード	25
MaxiCode	25
Aztec	26
ポスタルコード（郵便バーコード）	28
ポスタルコード（郵便バーコード）	29
ポスタルコード（郵便バーコード）	30
コーダブロック・オプション	31

PDF オプション.....	31
RS232.....	32
ソフトウェア・ハンドシェーク.....	32
多機能USB/IBMインターフェース [†]	32
インターフェース.....	33
追加のインターフェース [†]	33
IBM 46xx-SIOC RS485 インターフェース.....	34
IBM-OEM USB インターフェース.....	34
Full Speed USB キーボード・インターフェース.....	34
MS7580 Genesis 限定.....	35
設定モード開始／終了バーコード.....	37

スキャナ操作

プレゼンテーション・モードとトリガー[†]・モード

読取りに設定可能なモードには、プレゼンテーション・モード、マルチ試行トリガー・モード、継続トリガー・モード、単一トリガー・モードの4つがあります。これらのモードは、スタンドに設置した状態での操作（スタンド上）とスタンドから取り出した状態での操作（スタンド外）用に別々に設定することができます[‡]。

スタンド上[‡]

* プレゼンテーション・モード
スタンド上



マルチ試行トリガー・モード
スタンド上



継続トリガー・モード
スタンド上



単一トリガー・モード
スタンド上



* 工場のデフォルト設定

† 用語トリガーとボタンは同義です。

‡ スタンド上とスタンド外は、必ずしもすべての製品に適用可能とは限りません。

スキャナ操作

プレゼンテーション・モードとトリガー・モード

スタンド外[‡]

- ◆ プレゼンテーション・モード
スタンド外



- * マルチ試行トリガー・モード
スタンド外



- 継続トリガー・モード
スタンド外



- 単一トリガー・モード
スタンド外



スタンド内／スタンド外モードの一致

- スタンド外モードに合わせて
スタンド内モードを設定



* 工場のデフォルト設定

◆ IS1650 の工場デフォルト設定

‡ スタンド上とスタンド外は、必ずしもすべての製品に適用可能とは限りません。

スキャナ操作

プレゼンテーション・モードとトリガー[†]・モード

- * プレゼンテーション・モード
ボタンを放した直後[◇]



ボタンを放すと、スキャナは即座にプレゼンテーション・モードに戻ります[◇]。

- プレゼンテーション・モード
ボタンを放した後 1 秒後[◇]



ボタンを放した後 1 秒後、スキャナはプレゼンテーション・モードに戻ります[◇]。

- プレゼンテーション・モード
ボタンを放した後 5 秒後[◇]



ボタンを放した後 5 秒後、スキャナはプレゼンテーション・モードに戻ります[◇]。

- * 工場のデフォルト設定。
- [†] 用語トリガーとボタンは同義です。
- [◇] 本機能は、MS7580 Genesisでのみサポートされます。

スキャナ操作

プレゼンテーション・モードとトリガー・モード

* プレゼンテーション・モードで
トリガー・プレス・タイムアウトを
有効化◇



プレゼンテーション・モードで
トリガー・プレス・タイムアウトを
無効化◇



* 工場のデフォルト設定

◇ この機能は、Focus製品シリーズ（すなわちIS1650、MS1890、MS1633、MS1690）でのみサポートされます。

スキャナ操作

プレゼンテーション・モードとトリガー・モード

パススルー設定◇

* プレゼンテーション・モードで
パススルー設定を有効化◇



プレゼンテーション・モードで
パススルー設定を無効化◇



300 ミリ秒のパススルー・タイムアウトを
有効化◇◇



100 ミリ秒のパススルー・タイムアウトを
有効化◇◇



* MS7580 の工場デフォルト設定

† 用語トリガーとボタンは同義です。

◇ この機能は、MS7580 Genesisでのみサポートされます。

◇ 追加のパススルー・タイムアウトについては、Metrologic社の顧客サービス担当者にご連絡ください。

スキャナ操作

オムニディレクション（全方向）スキャナ・モード、リニア・スキャナ・モード またはこの両方

このユニットは、オムニディレクション（全方向）スキャナ、リニア・スキャナまたはこの両方を組み合わせたスキャナとして動作するように設定できます。トリガー[†]操作およびプレゼンテーション操作は、オムニディレクション（全方向）およびリニアの各読取りモードに別々に設定可能です。

- オムニディレクション（全方向）スキャナとして動作するように設定すると、1D および 2D の全バーコードが無指方向的に読取られます（ただし、Code 128 のスキャナ設定ラベルは別で、リニア・アライメントを行わないと、正常に読取られません）。



IS4900 VuQuest エリア・イメージ・エンジンは、Code 128 スキャナ設定ラベルのリニア・アライメントを必要としません。このバーコードは、ターゲット・ドットで示されるエンジンの視野の中心付近に位置付ける必要があります。

- リニア・スキャナとしてとして動作するように設定すると、1D バーコードは、リニア・アライメントを行わないと、正常に読取られません。一方、2D バーコードの読取りを行うことはできません。
- リニア・スキャナおよびオムニディレクション（全方向）スキャナの両方として動作するように設定すると、1D バーコードは、リニア・アライメントを行わないと、正常に読取られません。一方、2D バーコードは、無指方向的に読取られます。

デフォルトでは、Focus製品シリーズ[◇]は、トリガー操作およびプレゼンテーション操作のためにオムニディレクション（全方向）読取りに設定されています。MS7580 は、デフォルトでは、プレゼンテーション操作およびパススルー操作にはオムニディレクション（全方向）読取りに設定され、ボタン[†]操作には 1Dリニア・スキャン／2Dオムニディレクション（全方向）読取りに設定されています。

トリガー操作でのみリニアを
有効化



トリガー操作でのリニアを
無効化



[†] 用語トリガーとボタンは同義です。

[◇] Focus製品シリーズには、IS1650、MS1890、MS1633、MS1690 が含まれます。

スキャナ操作

オムニディレクション（全方向）スキャナ・モード、リニア・スキャナ・モード
またはこの両方

トリガー操作でのみ
ID リニアを有効化



トリガー操作でのみ
ID リニアを無効化



プレゼンテーション操作でのみ
リニアを有効化



プレゼンテーション操作でのみ
リニアを無効化



プレゼンテーション操作でのみ
ID リニアを有効化



プレゼンテーション操作でのみ
ID リニアを無効化



スキャナ操作

照準および照射

トリガー操作およびプレゼンテーション操作は、ユニットのリニア照射を照準手段として使用するよう別々に設定できます。

- * トリガー操作で照準を有効化



- * トリガー操作で照準を無効化



- * プレゼンテーション操作で照準を有効化



- * プレゼンテーション操作で照準を無効化



- * FirstFlash®を有効化



- * FirstFlash®を無効化



- * 工場のデフォルト設定

スキャナ操作

照準および照射

* 自動ゲインを有効化



自動ゲインを無効化



* 照射グループ1を有効化



照射グループ1を無効化



* 照射グループ2を有効化◇



照射グループ2を無効化◇



* 工場のデフォルト設定

◇ 本機能は、Focus製品シリーズ（すなわち、IS1650、MS1890、MS1633、MS1690）でのみサポートされます。

スキャナ操作

データ出力

* データ出力を
有効化



データ出力を
無効化



* 工場のデフォルト設定

スキャナ操作

キャラクタ抑制

1キャラクタ抑制を
有効化



* 1キャラクタ抑制を
無効化



1つのキャラクタを抑制するには、

1. 37 ページの [設定モードの開始/終了] バーコードを読取ります。
2. [1キャラクタ抑制を有効化] バーコードを読取ります。
3. [キャラクタ 1] バーコードを読取ります (下の左)。
4. 12 ページの、抑制対象のキャラクタを表す3つのコード・バイトを読取ります。
5. 37 ページの [設定モードの開始/終了] バーコードを読取ります。

2キャラクタ抑制を
有効化



* 2キャラクタ抑制を
無効化



2つのキャラクタを抑制するには、

1. 37 ページの [設定モードの開始/終了] バーコードを読取ります。
2. 上記の [2キャラクタ抑制を有効化] バーコードを読取ります。
3. [キャラクタ 1] バーコードを読取ります (下の左)
4. 抑制対象の第1キャラクタを表す3つのコード・バイト (12 ページ) を読取ります。
5. [キャラクタ 2] バーコードを読取ります (下の右)
6. 抑制対象の第2キャラクタを表す3つのコード・バイト (12 ページ) を読取ります。
7. 37 ページの [設定モードの開始/終了] バーコードを読取ります。

キャラクタ 1



キャラクタ 2



* 工場のデフォルト設定

スキャナ操作

キャラクタ抑制（コード・バイト 0-9）



コード・バイトの詳細については、MetroSelect[®]設定ガイド（MLPN 00-02544）の「コード・バイトの使い方」の節を参照してください。



コード・バイト 0



コード・バイト 1



コード・バイト 2



コード・バイト 3



コード・バイト 4



コード・バイト 5



コード・バイト 6



コード・バイト 7



コード・バイト 8



コード・バイト 9

スキャナ操作

同一シンボル・タイムアウト

トリガー時に
同一シンボル・タイムアウトを保持



トリガー時に同一シンボル・タイムアウトが再起動されません。

* トリガー時に
同一シンボル・タイムアウトをリセット



トリガー時に同一シンボル・タイムアウトが再起動されます。

LED オプション

* 青色LEDの
輝度 - 通常◇



青色LEDの
輝度 - 低◇



* 白色LEDの
輝度 - 通常◇



白色LEDの
輝度 - 低◇



* 工場のデフォルト設定

◇ 本機能は、MS7580 Genesisでのみサポートされます。

スキャナ操作 - MS1633 に限定

節電モード^{††}

節電のトリガーを
有効化



この機能が有効化されると、ボタンを 10 秒間
押した後、MS1633 はスリープ・モードに入
ります。

* 節電のトリガーを
無効化



IR 節電を
有効化



この機能が有効化されると、IR が 5 回起動され
てもデコードが正常に行われなかった場合に、
MS1633 スリープ・モードに入ります。

IR 節電を
無効化



* 工場のデフォルト設定

^{††} これらの機能は、MS1690、MS1890、IS1650 では使用されません。

スキャナ操作 - MS1633 に固有

RangeGate[®]モード^{††}


RangeGate を
有効化



この機能が有効化されると、Bluetooth 接続が中断されたときに、MS1633 はスキャンされたバーコードを非揮発性メモリに入れます。

RangeGate を
無効化



 RangeGate とインベントリ・モードは同時に使用できません。両方が有効化されると、インベントリ・モードが優先されます。

RangeGate デイレー=1 秒



MS1633 は、RangeGate モードで個々のバーコードを送信する際に 1 秒の間を取ります。

RangeGat デイレー=500 ミリ秒



MS1633 は、RangeGate モードで個々のバーコードを送信する際に 500 ミリ秒の間を取ります。

RangeGate デイレー=0 秒



MS1633 は、RangeGate モードで個々のバーコードを送信する際に間を取りません。

^{††} これらの機能は、MS1690、MS1890、IS1650 では使用されません。

スキャナ操作 - MS1633 に固有

Bluetoothファームウェアおよびアドレス^{††}

Bluetooth ファームウェア・バージョンを
送信



スキャナの Bluetooth アドレスを
送信



^{††} これらの機能は、MS1690、MS1890、IS1650 では使用されません。

スキャナ操作 - MS1633 に固有

インベントリ・モード^{††}

インベントリ・モードには、各バーコードに関連した数量フィールドがあります。品目のバーコードが読取られると、MS1633 は自動的にバーコードを非揮発性メモリに格納し、数量フィールドに 1 を設定します。この数量フィールドは、18 ページの数量バーコードを使用して変更できます。バーコード・データは自動的にホストに送信されません。格納データを送信するには、(以下の)「全レコードを送信」バーコードを読取らなければなりません。

インベントリ・モードを
有効化



* インベントリ・モードを
無効化



RangeGate とインベントリ・モードは同時に使用できません。両方が有効化されると、インベントリ・モードが優先されます。

数量フィールドを
送信



品目のバーコード・データは一度だけ格納および送信され、ユーザが選択可能な数値がデータ文字列の末尾に追加されます。数量入力については、18 ページを参照してください。数量が入力されない場合は、デフォルトで 1 が仮定されます。

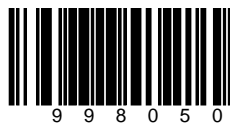
* 数量フィールドを
送信しない



品目のバーコード・データは、数量が示されるたびに何度でも格納され、送信されます。

数量が入力されない場合は、デフォルトで 1 が仮定されます。

全レコードを送信



格納されている全データ・レコードを送信します。

^{††} これらの機能は、MS1690、MS1890、IS1650 では使用されません。

インベントリ・モード^{††}

次のバーコードにより、ユーザは最後に読取った品目の数量を入力できます。品目のバーコード・データは、数量が表示された回数だけ格納と送信が行われます。数量フィールドの送信機能（19 ページ）が有効化されると、バーコード・データは一度だけ格納および送信され、数値がデータ文字列の末尾に追加されます。

数量が入力されない場合は、デフォルトで値 1 が仮定されます。数量の最大値は 9999 になります。数量の桁は右から左にシフトするため、5 桁目が読取られると、スキャンされた 1 桁目が破棄され、2 桁目、3 桁目および 4 桁目が左に移動して新しい桁を格納します。例えば、数量を 1234 に設定した後、数量 5 のバーコードが読取られると、1 が落ちて、数量は 2345 になります。

例

数量 5 を追加するには、

1. 品目のバーコードを読取ります。
2. (19 ページの) 数量 5 のバーコードを読取ります。

数量 1,500 を追加するには、

1. 品目のバーコードをスキャンする。
2. (19 ページの) 数量 1 のバーコードを読取ります。
3. (19 ページの) 数量 5 のバーコードを読取ります。
4. (19 ページの) 数量 0 のバーコードを読取ります。
5. (19 ページの) 数量 0 のバーコードを読取ります。

数量コードを使用して不正の数量を補正するには、不正な桁に代わる数量 0 を読取り、次に 19 ページに示す正しい数量バーコードを読取ります。

例

数量コードを使用して数量 103 を 10 に変更するには、

1. 数量 0 のバーコードをスキャンし、数量を 1030 に変更します。
2. 数量 0 のバーコードをスキャンし、数量を 0300 に変更します。
3. 数量 1 のバーコードを 3001 に変更します。
4. 数量 0 のバーコードを 0010 に変更します。

21 ページの「最終レコードを削除」バーコードを使用しても不正なレコードと数量を削除できます。その場合は、「最終レコードを削除」バーコードを使用した後、適切な数量のバーコードを再度読取ってください。

^{††} これらの機能は、MS1690、MS1890、IS1650 では使用されません。

スキャナ操作 - MS1633 に固有

インベントリ・モード^{††}

数量 0



数量 5



数量 1



数量 6



数量 2



数量 7



数量 3



数量 8



数量 4



数量 9



^{††} これらの機能は、MS1690、MS1890、IS1650 では使用されません。

スキャナ操作 - MS1633 に固有

インベントリ・モード^{††}

エントリ・カウンタを
送信



バッファ全体を送信するための送信回数である
バーコード・データとともに送信されるオプ
ションのフィールド

* エントリ・カウンタを
送信しない



レコード数を
送信



現在格納されているレコードとバーコードの
数をスペースで区切られる 5 桁の数字として
送信します。

インベントリ・レコードを
LIFO で送信



後入れ先出し方式でデータを送信します。

* インベントリ・レコードを
FIFO で送信



先入れ先出し方式でデータを送信します。

^{††} これらの機能は、MS1690、MS1890、IS1650 では使用されません。

スキャナ操作 - MS1633 に固有

インベントリ・モード^{††}

インベントリ・ブザー音を有効化



この機能を有効化されると、MS1633 がインベントリ・レコードを送信するたびに、ブザー音を鳴動します。

* インベントリ・ブザー音を無効化



最終レコードを削除



このバーコードを読取ると、最後に格納されたバーコードが削除されます。

インベントリ・レコードをクリア



このバーコードを読取ると、メモリ上に格納された全バーコードが削除されます。

^{††} これらの機能は、MS1690、MS1890、IS1650 では使用されません。

コード・タイプとデコード規則

データ・マトリクス

通常色のデータ・マトリクスを有効化



色反転データ・マトリクスのデコードを有効化



通常色および色反転のデータ・マトリクスを有効化



* データ・マトリクスのデコードを無効化



長方形データ・マトリクス・シンボルのデコードを有効化



* 長方形データ・マトリクス・シンボルのデコードを無効化



* 工場のデフォルト設定

コード・タイプとデコード規則

データ・マトリクス

低コントラスト・データ・マトリクスのデコードを有効化[†]



低コントラスト・データ・マトリクス・シンボルのデコードを改善します[†]。

* 低コントラスト・データ・マトリクスのデコードを無効化



データ・マトリクス・非四角モジュールを有効化[†]



シンボル内の個々のモジュールが四角でないとき、データ・マトリクス・シンボルのデコードを改善します[†]。

* データ・マトリクス・非四角モジュールを無効化



データ・マトリクス・タイトルのシフトを有効化[†]



下部タイトルを基準にしてデータ・マトリクス・シンボル内の上部タイトルをシンボル内でシフトすると、同シンボルのデコードが改善します。

* データ・マトリクス・タイトルのシフトを無効化



* 工場のデフォルト設定

[†] これらのオプションを有効化すると、すべてのバーコードのデコード時間が増加します。

コード・タイプとデコード規則

データ・マトリクス

- * データ・マトリクスの通常サイズを有効化



次のバーコードは、シンボル・サイズが小さいときに、データ・マトリクス・シンボルのデコードを改善します。これらのオプションのいずれかを無効化する場合は、上記のデータ・マトリクスの通常サイズを有効化をスキャンします。

- 小さいサイズのデータ・マトリクスを有効化[†]



- 非常に小さいサイズのデータ・マトリクスを有効化[†]



- * 工場のデフォルト設定

[†] これらのオプションを有効化すると、すべてのバーコードのデコード時間が増加します。

コード・タイプとデコード規則

QR コード

通常の QR コードを有効化



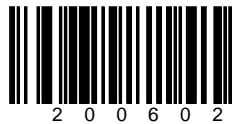
色反転 QR コードを有効化



通常および色反転 QR コードを有効化



* QR コードを無効化



MaxiCode

MaxiCode を有効化



* MaxiCode を無効化



* 工場のデフォルト設定

コード・タイプとデコード規則

Aztec

ビデオ Aztec の通常デコードを有効化



* ビデオ Aztec の通常デコードを無効化



ビデオ Aztec の逆デコードを有効化



* ビデオ Aztec の逆デコードを無効化



* 工場のデフォルト設定

コード・タイプとデコード規則

Aztec

Aztec 構造付加デコードを有効化



* Aztec 構造付加デコードを無効化



この機能が有効化されると、構造化された付加ヘッダを持った Aztec バーコードが、スキャナのメモリバッファに格納されます。スキャナは、構造化された付加バーコードのすべてのコンポーネントを読み取ると、連結したメッセージを送信します。最高 16 個のコンポーネントを格納できます。

この機能を無効化すると、構造化された付加ヘッダを持った Aztec バーコードは、通常の Aztec バーコードとして読み込まれます。ただし、この場合、構造化された付加バーコードは、バーコード・データの一部として送信されます。



コード選択および構造化された付加機能は、同時には使用できません。両方が有効化されると、コード選択機能が機能しなくなります。

コード選択タイムアウト設定値によって、同じバーコードの個々のコンポーネント間に許容される時間が決まります（コード選択操作と同様）。

デフォルトでは、各コンポーネントが読取られるときに中間的なブザー音を鳴らします。1 つのスキャン・バッファしか有効化されていないと、各バーコード・コンポーネントを読取った後にユーザはボタンを放す必要があります。

* 中間ブザー音を有効化



中間ブザー音を無効化



「中間ブザー音」が無効にされ、スキャン・バッファ数を増加すると（MetroSet[®]内のバッファと比較）、構造化された付加バーコードの全コンポーネントが単トリガー起動で読み込まれ、通常のバーコードの読取り時と同様に、ブザー音が 1 回だけ鳴動されます。

* 工場のデフォルト設定

コード・タイプとデコード規則

ポスタルコード（郵便バーコード）

オーストラリア郵便コードを
有効化



* オーストラリア郵便コードを
無効化



日本郵便コードを
有効化



* 日本郵便コードを
無効化



KIXコードを
有効化



* KIXコードを
無効化



* 工場のデフォルト設定

コード・タイプとデコード規則

ポスタルコード（郵便バーコード）

PLANET コードを
有効化



* PLANET コードを
無効化



POSTNET コードを
有効化



* POSTNET コードを
無効化



B & B'フィールド POSTNET を
有効化



* B & B'フィールド POSTNET を
無効化



* 工場のデフォルト設定

コード・タイプとデコード規則

ポスタルコード（郵便バーコード）

UPU デコードを
有効化



* UPU デコードを
無効化



Royal Mail 4 コードを
有効化



* Royal Mail 4 コードを
無効化



Zero-FCC オーストラリア郵便コードを
有効化



* Zero-FCC オーストラリア郵便コードを
無効化



* 工場のデフォルト設定

コード・タイプとデコード規則

コーダブロック・オプション

コーダブロック A を有効化



* コーダブロック A を無効化



コーダブロック F を有効化



* コーダブロック F を無効化



PDF オプション

\を\として送信することを有効化



* \を\\として送信することを有効化



* 工場のデフォルト設定

ソフトウェア・ハンドシェーク

JVハンドシェークを
有効化



ホストからの「JV」応答は、スキャナ・データ
の受信を意味します。

JVハンドシェークを
無効化



多機能USB/IBMインターフェース†

二重インターフェースのデフォルト†



† この機能は、MS1633 には使用できません。

インターフェース

追加のインターフェース†

ブザー音 ON/OFF コマンドを有効化



USB および IBM 内部インターフェースでブザー音 ON/OFF コマンドを有効化します。

* ブザー音 ON/OFF コマンドを無効化



第三世代 IBM 46xx デフォルト



この機能が正常に動作するには、第三世代 IBM46xx デフォルト・バーコードを読取った後、IBM 予約コード#2 を読取ります。

IBM 予約コード#2



第三世代 IBM 46xx デフォルト・バーコードを読取った後、IBM 予約コード#2 を読取ります。

* 工場のデフォルト設定

† この機能は、MS1633 には使用できません。

インターフェース

追加のインターフェース†

IBM 46xx-SIOC RS485 インターフェース

最終ブロック・ラベル識別子 4680 として
30H を送信



PDF コードのみ

* 最終ブロック・ラベル識別子 4680 として
00 を送信



PDF コードのみ

IBM-OEM USBインターフェース

最終ブロック・ラベル識別子 USB として
30H を送信する



PDF コードのみ

* 最終ブロック・ラベル識別子 USB として
00 を送信する



PDF コードのみ

Full Speed USBキーボード・インターフェース

Full Speed USB キーボード・
インターフェースのデフォルトを有効化



* 工場のデフォルト設定

† これらの機能はMS1633 では使用できません。

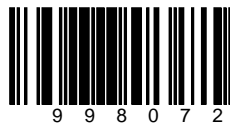
インターフェース

MS7580 Genesis 限定

RS232 設定値を
ロード◇



USB設定値を
ロード◇



キーボード・インターフェース設定値を
ロード◇



RS485 設定値を
ロード◇



現在接続されているインターフェース
設定値の呼び出し◇



◇ 本機能は、MS7580 Genesis でのみサポート。

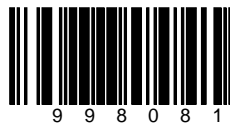
インターフェース

MS7580 Genesis 限定

すべてのインターフェースに
設定値を適用◇



現在のインターフェースに
設定値を適用◇



RS232 インターフェースに
設定値を適用◇



USBインターフェースに
設定値を適用◇



キーボード・インターフェースに
設定値を適用◇



RS485 インターフェースに
設定値を適用◇



◇ 本機能は、MS7580 Genesis でのみサポートされます。

設定モード開始／終了バーコード

設定モード開始／終了バーコード



WORLDWIDE HEADQUARTERS

Metrologic Instruments, Inc.

90 Coles Rd. Blackwood, NJ 08012-4683 • Email: info@metrologic.com
Customer Service Tel: 1-800-ID-METRO • Corporate Tel: 856-228-8100
Fax: 856-228-6673 (Sales) • 856-228-1879 (Marketing) • Fax: 856-228-0653 (Legal/Finance)

USA

Omniplanar
Tel: 856.537.6100
Fax: 856.537.6116
Email: info@omniplanar.com

USA

NOVODisplay
Tel: 856.537.6139
Fax: 856.537.6116
Email: info@NOVODisplay.com

METROLOGIC - THE AMERICAS

USA

Metrologic USA - Headquarters
Tel: 1.856.537.6400
Fax: 1.856.537.6474
Email: info@us.metrologic.com

Mexico

Metrologic Mexico, S.A. DE C.V.
Tel: 55.5365.6247
Fax: 55.5362.2544
Email: info@mx.metrologic.com

South America

Metrologic do Brasil Ltda.
Tel: 52.55.11.5182.7273
Fax: 52.55.11.5182.7198
Email: info@sa.metrologic.com

South America

Metrologic South America
Tel: 1.239.642.1958
Fax: 1.239.642.1959
Email: info@sa.metrologic.com

METROLOGIC - EMEA

Central Europe

Metrologic Instruments GmbH Headquarters
Tel: 49-89-89019-0
Fax: 49-89-89019-200
Email: info@de.metrologic.com

France

Metrologic Eria France SA
Tel: +33 (0) 1 48.63.78.78
Fax: +33 (0) 1 48.63.24.94
Email: info@fr.metrologic.com

METROLOGIC - EMEA

Spain

Metrologic Eria Iberica, SL
Tel: +34 913 272 400
Fax: +34 913 273 829
Email: info@es.metrologic.com

Russia

Metrologic Instruments LLC
Tel: +7 (495) 737 7273
Fax: +7 (495) 737 7271
Email: info@ru.metrologic.com

Italy

Metrologic Instruments Italia
Tel: +39 0 57 6511978 or
+39 051 651 1978
Fax: +39 0 51 6521337
Email: info@it.metrologic.com

Poland

Metrologic Instruments Poland
Tel: +48 (22) 545 04 30
Fax: +48 (22) 545 04 31
Email: info@pl.metrologic.com

United Kingdom

Metrologic Instruments UK Limited
Tel: +44 (0) 1256 365900
Fax: +44 (0) 1256 365955
Email: info@uk.metrologic.com

METROLOGIC - APAC

Asia

Metrologic Asia (Pte) Ltd Headquarters
Tel : (65) 6842-7155
Fax : (65) 6842-7166
Email: info@sg.metrologic.com

China

Suzhou Sales Office Headquarters
Tel: 86-512-67622550
Fax: 86-512-67622560
Email: info@cn.metrologic.com

METROLOGIC - APAC

Australia

Metrologic Australia
Tel: 61 2 9652 2726
(international)
Tel: 02 9816 6470 (local)
Tel: 1 800 99 88 38 (Australia)
Email: kmason@au.metrologic.com

China

Beijing Sales Office
Tel/Fax: 86 10 82253472
Email: info@cn.metrologic.com

China

Chengdu Sales Office
Tel/Fax: 86 28 86200109
Email: info@cn.metrologic.com

China

Guangzhou Sales Office
Tel: 86-20-38823476
Fax: 86-20-38823477
Email: info@cn.metrologic.com

India

India Sales Office
Tel: +91 80 41256718
Fax: +91 80 41256719
Email: info@in.metrologic.com

Korea

Korea Sales Office
Tel: 82-2-6205-5379
Fax: 82-2-3444-3980
Email: Scott.lee@kr.metrologic.com

Japan

Metrologic Japan Co., Ltd.
Tel: 81-3-3839-8511
Fax: 81-3-3839-8519
Email: info@jp.metrologic.com

Thailand

Metrologic Thailand
Tel: +662-610-3787
Fax: +662-610-3601
Email: tawanjandang@th.metrologic.com

China

Shanghai
Tel: 86-21-58356616
Fax: 86-21-58358873
Email: info@cn.metrologic.com

2008 年 1 月

Printed in the USA



00 - 05252A